



# あさまる通信

第44号 3月

発行：習志野販売株式会社  
〒275 - 0016  
千葉県習志野市津田沼 5-11-10 吉田ビル 3F  
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357  
URL http://www.asamaru.com/  
e-mail info@asamaru.com

※太巻きずし「ももの花」のレシピは当社ホームページに掲載してあります。

## ◆太巻き祭りずしに

### チャレンジ!!

2月12日(土)に菊田公民館で、小学生4〜6年生を対象として、太巻き祭りずしの作り方の講習がありました。太巻きの種類は2つで、ひな祭りを祝う「ももの花」とみんなが元気に育つ「正ちゃん」という太巻きです。この「祭りずし」は千葉県県の郷土料理で、安房、山武郡など千葉県の各地で冠婚葬祭などの時に作られています。起源は葬式の際に芋から(さつま芋の茎を干した物)を芯にして作ったものと言われていたますが、他にも色々な説があります。近頃は節分の時に太巻きずしを無言で一気に食べるというものが広まりました。これはコンビニ業界の商戦の一つで、本当は大阪の風習だそうです。今回の太巻き祭りずし講習は、あらためて郷土料理を子供達に知ってもらいたいという目的です。



参加した14名は、受付で名札をもらって、早速エプロン姿に変身しました。それぞれペアになって「ももの花」と「正ちゃん」の2本の太巻きを作ります。みんな授業や家庭で料理の経験はあるものの、太巻きずしを作るのは初めてです。まず和田先生が作り方を実際にやりながら

「正ちゃん」の作り方の見本を見せます。どうやって顔になるのか、緊張した面持ちで見入っていました。材料のかんぴょうやヤマゴボウなどを目鼻になるように巻き上げます。そして終わりに包丁をいれると、みごとに「正ちゃん」が出来上がりました。子供達から「おお〜！すごい！」と歓声があがりました。

さあ、今度は子供達の番です。眉毛、目、口、頬、の順でパーツを作り、全体を巻いていきます。海苔が破れたり、上手に巻けなかったりと大騒ぎでした。そしてドキドキしながら包丁をいれました。すると可愛い「正ちゃん」の顔が現れました。子供のペアごとに顔が違います。お互いに他のペアの顔をのぞきに行ったりしています。りりしい顔、笑っている顔、くらべあって楽しんでいました。次に「ももの花」です。だいたい余裕が出てきたのか、先生の説明もリラックスして聞いています。先生の見本が出来



上がると、また歓声があがりました。生徒も慣れてきたせいかわももの花は思ったより簡単に作れました。花びらの薄紅色を紅白の酢飯でグラデーションを作り、野沢菜の葉が色を添えています。包丁を入れると愛らしい「ももの花」が咲いています。食べるのが勿体無いほどです。

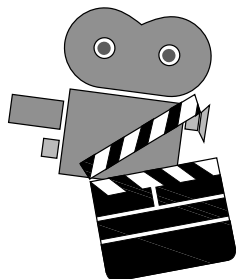
この後は待ちに待った試食です。大皿に「ももの花」と「正ちゃん」が盛りです。公民館の人が用意してくれたお吸い物と1人2切れずつ、それぞれ2つの4切れです。ちょうどお昼時でもあり「いただきます」と元気な声とともに、自分の作品にかぶりつきました。「おいしい！」の声があちこちから聞こえました。最後には「今度はお母さんの分も作ってあげたい」など、すっかり自信を持ったようです。



## ◆阪妻関東撮影所

阪妻こと阪妻三郎は昭和初期の無声映画やトーキー(音声入り映画)の時代に大活躍した映画俳優です。年配の方ならご存知の方もいらっしゃるでしょうが、本名は田村伝吉といひ、田村高廣、田村正和、田村亮らの父親です。その阪妻が昭和6年2月映画界の古い慣習や弊害をやるために、谷津海岸の京成電鉄立地に「大日本自由プロダクション阪妻関東撮影所」を開き、ステージを7カ年契約で建設し、ここで映画製作を開始したので。

この撮影所はステージ、現像室、一般写真室、倉庫や守衛詰所などの建物があり、ここで無声映画18本、トーキー3本が撮影されました。人員は阪妻をはじめ専属の俳優、大道具、照明、裏方そして現像などの従業員



総数38人の大所帯でした。また工キストラも谷津や津田沼などの人達が10人以上参加しており、日当1円程(現在の1万円位)が支払われていました。地元の人々のいい小遣い稼ぎになったようです。阪妻は歌舞伎出身で、映画では剣戟ものの主役です。従来よりスピードのある演技を作り出したり、役柄も下級侍などの役どころで、「魔像」「逆流」などの世間の悪に立ち向かうような待を演じて人気がありました。生涯200本以上の作品に出演しましたが、阪妻は声調が高く、弁士時代と比べてトーキーでの評判が良かったためか引退が早まりました。この阪妻の引退により昭和11年12月撮影所が閉鎖されました。京成電鉄は谷津遊園内にこれを移転。「楽天府」と名づけ、1階は娯楽場、遊戯場、休憩室、直営食堂、売店として2階は貸室、演芸場として使用しました。その谷津遊園も昭和57年12月には閉園となり、現在では谷津バラ園を残して、パークタウンに変貌を遂げています。

## あさまるinfo

◆こどものための和楽器入門講座発表会

日時 2月26日(土) 午後2時~午後3時30分  
場所 袖ヶ浦公民館 1F集会室  
曲目 さん、さん、さくら(全員)  
チューリップ、ちょうちょ、春よこい(幼・1,2年生)  
ゆうやけこやけ、お星さま(3年生)  
小川の夕ぐれ(三弦)  
うれしい ひなまつり(高学年) 他

お問い合わせ先 袖ヶ浦公民館 電話 451 - 6776

◆第12回生涯学習フェスティバル

日時 3月12日(土) 午前10時~午後1時  
3月13日(日) 午前10時~午後5時  
場所 新習志野公民館  
●12日/イベントプログラム:バザー、パフォーマンス(お囃子、秋津ソーラン、和太鼓、香澄ソーラン、ばか面おどり、吹奏楽) 模擬店(餅つき、再生品抽選会、ゲームラリー、ペンシルバルーン製作、草花、クッキー、他)  
●13日/人形劇「ないた赤おに」「さんまいのおふだ」他、サロンコンサート 弦楽四重奏のひととき

◆あんばさま

日時 3月13日(日) 午後1時~  
場所 菊田神社  
◆習志野市立第一中学校 管弦学部定期演奏会  
日時 平成17年3月20日(祝)  
午後1時(開場) 午後1時30分(開演)  
場所 習志野文化ホール(JR津田沼駅南口)  
出演 習志野市立第一中学校 管弦学部  
曲目 歌劇「シチリア島の夕べの祈り」序曲 ヴェルディ作曲  
交響詩「魔法使いの弟子」 デュカス作曲  
交響曲第6番「悲愴」 チャイコフスキー作曲他  
入場無料  
お問い合わせ先 習志野第一中学校(寺嶋) 電話 472 - 6165